

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2016年9月
第26号
(年4回発行)

秋の
お彼岸号

発行部数3千部



西願寺内陣

お墓参りは必要ないのか／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／浄土に生まれ往く
実践教室／仏壇を買い換える

お墓参りは必要なのか

お彼岸の頃を迎えると、日頃お墓参りになかなか足を運べていない人も、ふと、お墓のことが気になりお墓参りも多くなります。あるアンケート調査によると先祖のお墓参りをする人は、63・8%という数字が出ていました。半数以上の人がお参りをすると言え、お墓参りの習慣は日本人に根強くあるものとわかります。しかし、一方で「お墓参りに意味を感じられない」と思う人たちいるようです。お墓参りは必要なのでしょうか？



お墓は感謝をするための場所

お釈迦さまが亡くなった時、そのご遺骨（仏舎利）は、八つに分骨されお釈迦さまを慕う人々がそれぞれの国に持ち帰り仏舎利塔を建て大切に保管されました。ここで人々はお釈迦さまのお徳を偲び、仏法にであつたそうです。

日本のお墓のはじまり

日本では、縄文時代から死者を埋葬する習慣がありましたが、一般の民衆が現代のようなお墓として石碑を建てるようになったのは江戸時代中期頃からと言われています。

民衆の間ではまだ建てられることがなかった墓石も平安時代には、貴族や高僧の墓石が建立されるようになりました。そして、鎌倉・室町時代には仏教が広く普及し、戒名や位牌などの習慣も取り入れられました。

この頃の日本のお墓の形は「五輪塔^{ごりんとう}」と呼ばれるものが主でした。五輪とは仏教では宇宙のすべてを形成する五大元素（地・水・火・風・空）を指し、人が亡くなると肉体は五大要素に還るという教えを形にしています。

空
風
火
水
地



五輪塔

丹羽住職インタビュー



問 近年、様々な価値観によってお墓のあり方も変化してきましたね。故人への敬いの心から碑を建て遺骨を大切に保管する場所がお墓だと思おうのですか？

住職 そうですね。ですが、お墓は故人の居場所ではありません。そこで私たちは故人とのつながりを確かめ、亡くなられた方やご先祖さまのおかげで今日の私たちがあることに感謝するところなのだと思います。

**どうしてお墓参りを
しないではいけないの？**

問 最近、インターネットなどの書き込みを見ると、お墓参りを義務のように感じている人もいますよね。
住職 お墓参りは「しなければなら

い」のではなく、お墓参りをしたいという気持ちが大切なのではないでしょうか。ご先祖様や今は亡き身近な方への感謝や、愛情、友情の気持ちから自らの意思でお墓参りをしたいと思うもので決して義務ではありません。

問 では、お墓参りをされている方はなぜお参りしたいと思うのでしょうか？

住職 それぞれの想いがあると思いますが、ご先祖さまへの感謝の思いや、また、お参りすることで亡くなった方を偲び思い出に浸る人もいらっしゃるでしょうし、墓前に報告することによって自分を見つめる場所としている方もいらっしゃると思います。お墓の前で手を合わせることを亡くなった方と自身をつなぐ一つの入口のように感じているのではないのでしょうか。

お墓参りに意味はない？

問 お墓参りに意味はないと考える人もいますよね？

住職 どんな事にもいろいろな考え方があるのは当然のことです。思いは人

それぞれ違うものだから一概にどれが正しいとは言えませんが、お参りすることで心の安らぎを得るという人もいます。また、お墓参りにあまり意味がないと思っていた人でも、近しい人が亡くなると、寂しさや悲しさ偲ぶ気持ちからお墓参りをしたいと自ら感じるようになったという方もいらっしゃいます。

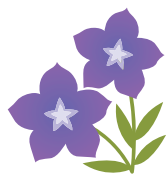
問 状況や環境により思うことも感じることも変化するものだということですね？

住職 そうですね。お墓参りは、ご先祖さまを敬う気持ちと同時に自分自身を見つめ直す大切な時間でもあると思います。

お墓参りなんか必要ないと思わずに、是非、心安らかに墓前で手を合わせて頂きたいと思います。

問 お彼岸は、ご先祖さまのこと、お墓のことをご自身やご家族で考えるよい機会ですね。

本日は、ありがとうございました。



「浄土に生まれ往く」

浄土宗は、極楽浄土に往生することを説きます。さて、その阿弥陀如来の極楽浄土はどのようなところなのでしょう。



浄土と天国

仏式のお葬式であっても「天国で安らかに眠りください」こんな言葉を耳にします。「浄土」と「天国」は同じもののようなイメージがあるのかもしれませんが。しかし、仏教で「天」と言えば「天上界」、また、神々のことです。帝釈天や毘沙門天も元はインドの神様で、後に仏教の教えを守る守護神となったものです。

ですから、天国というのは仏教の立場では、そのような神々の住む世界という意味になってしまいます。

仏教では、生きとし生けるものは全て自らの業により、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上という六つの迷いの世界を輪廻する（六道輪廻）と説いています。つまり「天上」も迷いの世界の一つなのです。阿弥陀さまはその迷いの世界に生きるもの全てを悟りの世界に救ってくださるのです。そして、この阿弥陀如来の世界こそが「浄土」なのです。

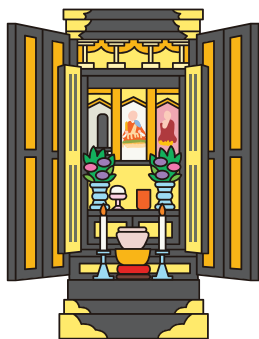
極楽浄土はどこにある？

阿弥陀さまの建立された極楽浄土は、西方十万億仏国土を過ぎたところとされています。西方とは、日の沈む所を表し、私たちの人生の終わるところを示していますので、西の方角に限定していることではありませんが、私たちでは考えも及ばない彼方で、そこには美しい花々が咲き誇り、光り輝く温かで清らかな無量光明（仏さまの限りなき光）に満ちた世界とされています。

私たちが生命を終えることを浄土宗では、浄土に往生する（生まれ往く）といいます。迷いや穢れない安らぎの世界、阿弥陀さまの世界である浄土に生まれ往くことは、みな仏さまにならせて頂くということなのです。

仏壇を買い替える

仏壇は、ご本尊を安置し、家族一人ひとりの心の拠り所となる場所です。古くなってしまった仏壇を買い替える。長く受け継いできて壊れている箇所がある、引越しをする先に今まであった大きな仏壇では置く場所がないなど様々な理由で仏壇を新しく買い替える時どんなことに注意したらよいのでしょうか？



古い仏壇の処分

古い仏壇は菩提寺の住職に魂抜き（供養をして頂きお焚き上げをお願い）します。新しく仏壇を購入した仏具店が、引き取って供養と処分してくれる場合もあります。

仏壇は、毎日手を合わせていた家の

中の小さなお寺です。供養せず粗大ゴミに出すようなことは避けましょう。また、いずれの場合も仏壇の引き出しなどに大切なもの等何か入っていないかの確認をした上で処分してもらいましょう。

新しい仏壇の開眼法要

仏壇を新しく買い替えたとき、本尊や位牌を新しくつくりかえたときも、住職に開眼法要をしてもらいます。この儀式は「仏壇開き」「入魂式」「性根入れ」「入仏式」「お移し」などとも呼ばれます。

本尊、位牌をまつり、必要な仏具もすべて飾り終えたあと、菩提寺の住職に来ていただき、魂入れの儀式をお願いします。この法要によって単なる物に過ぎなかった仏像などが、尊い仏になるのです。

買い替えの前に

（仏壇の洗浄や修善を考える）

仏壇の汚れが目立ったり、壊れている箇所があるなどの場合、洗浄（クリーニング）や修繕によって特に金仏壇など高級なものは新しく仏壇を買換えるよりも安価に美しく甦る場合もあります。

暮らしの中の 仏教語

「微塵」【みじん】

玉ねぎのみじん切りをして、涙で目と鼻がグスグスになってしまった経験のある人は多いのではないのでしょうか？みじん切りは、野菜を細かく切ることですが、「みじん」というこの言葉も実はもともとは仏教語。漢字で書くと微塵となります。物質を構成する単位で、最小単位である極微（ごくみ）を中心に上下四方の六方に七つの極微が集まり一つの微塵を形作るとされているのだとか…。なんだか難しい話のような…。目で見ることのできる最小の物質の単位というところから転じて非常に微細なものを意味するようになったそうです。「こっぱみじんに砕け散る」なんて何だかダイナミックな状況を想像してしまいましたが仏教語なのだと考えると奥が深いですね。



■第7回 十三夜お月見コンサートのご案内■

今年も、西願寺「十三夜お月見コンサート」の季節がやってきました。今回は、内モンゴル出身のアーティスト セーンジャー（賽音吉雅）氏の馬頭琴の演奏です。馬頭琴は棹の先端にある馬の頭の彫刻が施されたモンゴルの遊牧民の間に古くから伝わる弦楽器です。2000年以上の歴史があり、馬頭琴を弾くとその家に幸いが訪れるといわれているそうです。是非、間近でその音色をお楽しみください。

皆さまお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

日 時／平成28年10月14日（金）18時受付

場 所／西願寺本堂

参加費／1,000円



セーンジャー（賽音吉雅）

出身地 内モンゴル

2005年「スーホと白い馬」映画主演。その他テレビ、ラジオ、映画等出演多数。



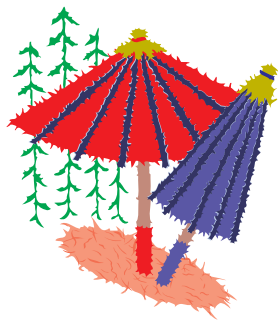
お月見コンサート・別時念佛会のお申込・お問合せ

西願寺 TEL. 048-925-1723 FAX. 048-925-1789

知恩院の七不思議

全国各地に七不思議は存在しますが、浄土宗の総本山知恩院（京都）の七不思議はこちらの7つ「鶯張りの廊下」「白木の棺」「忘れ傘」「大杓子」「抜け雀」「三方正面真向きの猫」「瓜生石」中でも忘れ傘のエピソードは興味をそそられます。「忘れ傘」は、御影堂の正面、東寄りの軒下から軒を見上げると骨ばかりとなった傘が置いてあるのが見えます。水と関係のある傘ということで火災よけと信じられている知恩院の「忘れ傘」これは、当時の名工、左甚五郎が魔除けの為に置いていったという説と、知恩院三十二世の雄誉靈巖上人が御影堂を建立するとき、このあたりに住んでいた白狐が、自分の棲居がなくなるので靈巖上人に新しい棲居をつくってほしいと依頼し、それが出来たお礼にこの傘を置いて知恩院を守ることを約束したという説とが伝えられているのだとか…。

知恩院を参拝された際には是非 軒を見上げて見てください。



掲 示 板

●秋彼岸会

9月19日(月)～9月25日(日)

●葬祭フェア開催

9月24日(土) 25日(日)

場所…彩の都 あすま会館

当日は、会場
で祭壇等の展
示をし葬儀に
ついての相
談やご質問を
お受けいたし
ます。お気軽
にお越しくだ
さい。



葬祭フェアについての
お問合せ(彩の都 あすま会館)

TEL. 048-921-4194

●西願寺 別時念佛会のご案内●

日時／毎月25日 18時より

場所／西願寺本堂

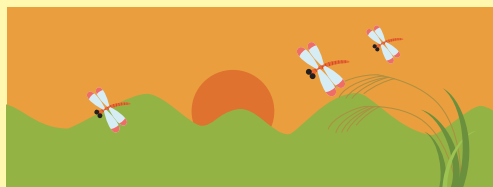
■参加申込について

事前にご連絡をお願い致します。

当日でも大丈夫です。

お気軽にご参加ください。

※当日灯明料をご奉納願います。



彩の都メモリアルパーク

永代供養墓「華苑」のご案内

彩の都メモリアルパークでは永代供養墓
「華苑」をご案内しております。お墓の後継
ぎのいない方、これからのご自身のお墓に不
安を抱えていらっしゃる方などに好適なもの
です。詳しくは、彩の都メモリアルパーク管
理事務所までお気軽にお問合せください。
(TEL.048-921-4194)



■お便り募集■

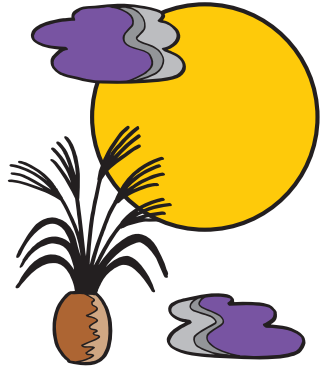
編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や
悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、べ
ろお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一 カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03 (3295) 1392 Mail: info@io-co.net

■次号予告

次号は平成二十八年十二月発行予定の「新年号」です。



◆編集後記◆

あつという間に「秋のお彼岸号」の季節になってしまいました。最近は特に駆け足で季節が通り過ぎて行く気がします。

さて、今回の実践教室では仏壇の買い替えについて取り上げています。我が家では、祖父母の家には大きな仏壇がありましたが、実家の仏壇はかなり小ぶりのもの。住宅事情もあってデザインや大きさなど仏壇も年々様変わりしているようですね。日本最古の仏壇と言われているのは「玉虫厨子」。そう！昔見た、社会の教科書に写真が載っていたあれです。奈良県の法隆寺に納められているものですが、中には飛鳥時代に推古天皇が拝んでいた三尊仏が祀られていました。現在のように本尊とご先祖様に手を合わせるといふより、仏を祀る空間、つまり私たちが思うお寺の本堂と同じ空間だったのですね。

発行者／

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作／

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部